

# FM/AM ミニディスクプレーヤー

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。  
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



# MDLP

# MDX-F5800



# 安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となり危険です。  
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線が外れていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



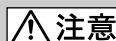
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



指示

# 目次

⚠ 警告・⚠ 注意 .....	4
MDについて .....	7
「グループ機能」について .....	8
はじめに .....	9
まず、本機をリセットする .....	10
MD・ラジオの聞きかた .....	12
各部のなまえ .....	14
カードリモコン (別売り) の操作 .....	16
時計を合わせる .....	18

---

## MD・CD

MD/CDを聞く .....	19
繰り返し聞く (リピート再生) .....	24
曲順を変えて聞く (シャッフル再生) .....	25
ディスクに名前をつける (カスタムファイル —ディスクメモ) .....	26
ディスクを名前で探す (リスト) .....	28

---

## ラジオ

放送局を自動で登録する .....	29
放送局を手動で登録する .....	31
放送局に名前をつける (ステーションメモ) .....	32
放送局を名前で探す (リスト) .....	34

---

## サウンドの設定

DSOを設定する .....	35
イコライザーを使う (EQ3) .....	36
音のバランスを設定する (バランス) (フェーダー) (ATT) .....	38
サブウーファーの出力を設定する .....	39

---

## その他の操作

音や表示などの設定を換える .....	41
ポータブル機器の音声を聞く .....	43
ロータリーコマンドー (別売り) の操作 .....	45

使用上のご注意 .....	48
故障かな? .....	51
保証書とアフターサービス .....	55
主な仕様 .....	56
索引 .....	58



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示

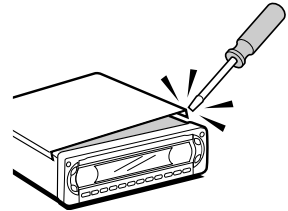
### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





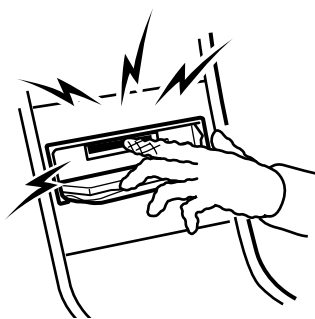
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

### ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



### 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

# 電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の (+) と (-) を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。



- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

## MDについて

### MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

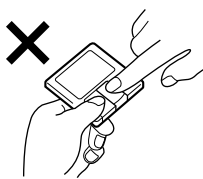
### 良い音で聞くために

車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



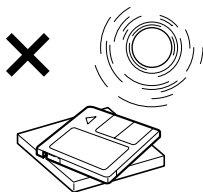
### MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



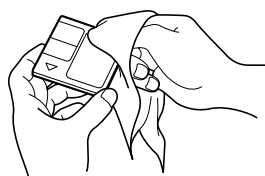
### 保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



### お手入れ

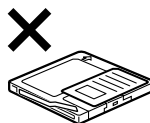
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



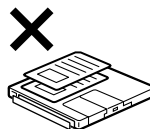
### ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

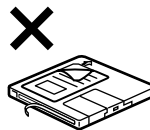
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



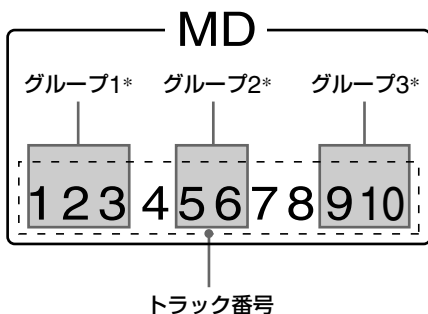
## 「グループ機能」について

グループ機能は多数のトラックを録音したMDや、MDLP（LP2/LP4）モードで録音したMDを再生するときなどに便利です。

### グループ設定についてのご注意

- 本機はMDの再生のみご利用になれます。MDの録音やグループの設定については、お手持ちのMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 1つのMDの中で同じグループ名を使って登録することができます。
- グループ番号は最大で99までご利用になれますが、実際に登録可能なグループの数はMDレコーダーの機能により変わります。
- お手持ちのMDレコーダーによっては、グループ機能がご利用にならない場合があります。

### グループ設定されているMD



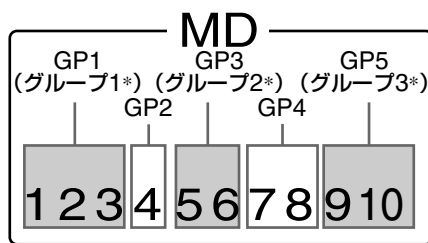
\* MDレコーダーで設定されたグループ

グループ設定されたMDを本機に挿入すると、自動的に再生が始まり、曲順に演奏されます。

### 本機による仮想グループ設定

本機はグループ設定されたグループの間にある1曲または、数曲を「GP」（グループ）として認識します。したがって、MDレコーダーによってグループ設定されたグループと同様にグループ設定されていない曲にも「GP」番号が割り当てられます。グループ設定されたMDを本機に挿入して再生すると、グループが変わったときに「GP」番号を表示します。

### グループ設定のあるMDと割り当てられた「GP」番号



\* MDレコーダーで設定されたグループ

グループ機能の使いかたについては、「MD/CDを聞く」、「繰り返し聞く（リピート再生）」、「曲順を変えて聞く（シャッフル再生）」をご覧ください。

### ご注意

グループ機能は、グループ設定されたMDを本機に挿入、再生した時のみご利用になれます。



# はじめに

- 本機はMDとラジオに対応。
- MP3ファイル再生コントロール対応  
(別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ)。
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO  
(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー) 機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な3バンドイコライザーカーブ (EQ3) 機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー (別売り) に対応。

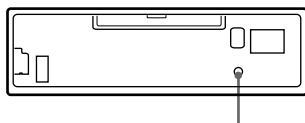
この取扱説明書では本機の使いかたの他に、別売りのカードリモコンおよびソニー製ロータリーコマンダー、ソニー製MD/CDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

# まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し（11ページ）、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン

## ご注意

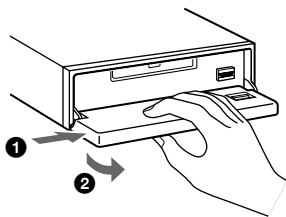
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にMDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はMDを入れないでください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「DEMO」（デモモード）を「OFF」にしてください（42ページ）。

## フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

### 取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押ししながら手前に引いて外します。

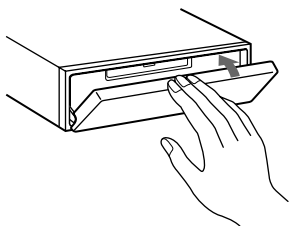
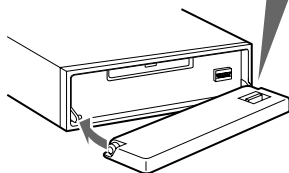
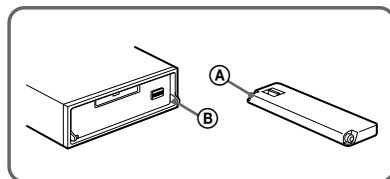


### ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押ししたり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース（付属）に入れてください。そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズになるおそれがあります。

### 取り付けかた

フロントパネルの①部分と本体の②部分を合わせて、軽く右側に押し込みながら取り付けます。



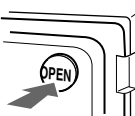
まず、本機をリセットする

# MD・ラジオの聞きかた

## MDを聞く

### 1 フロントパネルを開ける

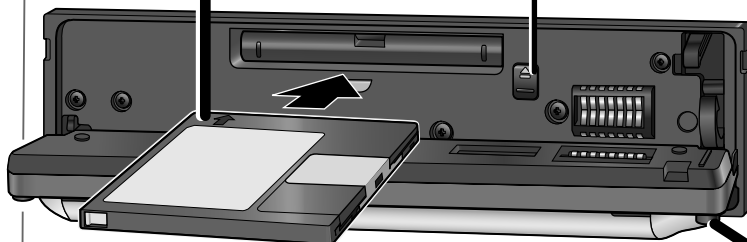
OPENボタンを押します。



### 2 MDを入れる

ラベル面を上にして入れます。  
自動的に再生が始まります。

MDを取り出す

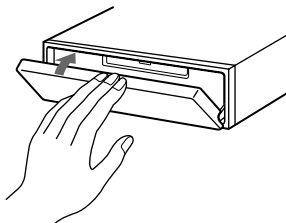


ディスクが入っているときは  
SOURCEボタンを押して「MD」表示に  
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには  
DSPLボタンを押します。

止める／電源を切るには  
OFFボタンを押します。

### 3 フロントパネルを手で閉める



#### 聞きたいところを探す (手動サーチ)

SEEKボタンを押し続けて、聞きたいところ  
で離します。

先に進める



前に戻す

#### 曲の頭出しをする (自動選曲センサー)

SEEKボタンをとばしたい曲の数だけ短く押  
します。

次の曲へ進む



曲の頭や前の曲へ戻す

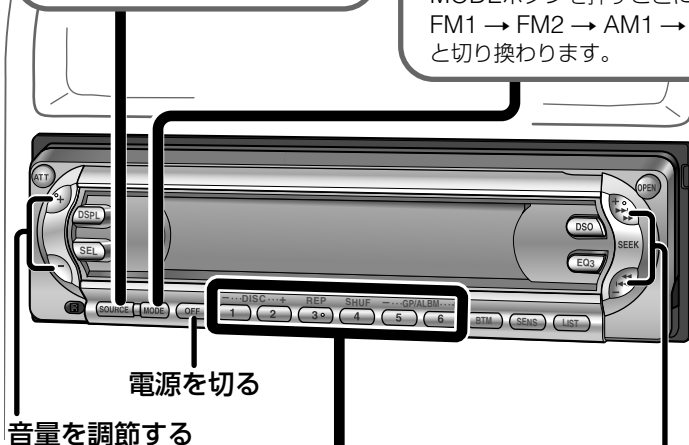
# ラジオを聞く

## 1 ラジオ受信にする

SOURCEボタンを押します。

## 2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタンを押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。



電源を切る

音量を調節する

## 3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに放送局が登録されているときに選ぶことができます。  
くわしくは29～31ページをご覧ください。

### 自動選局で受信する(自動選局)

聞きたい放送局を受信するまで、SEEKボタンを繰り返し短く押します。

次の放送局を探す



前の放送局を探す



### 希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEKボタンを押し続けて、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

高い周波数の放送局を探す

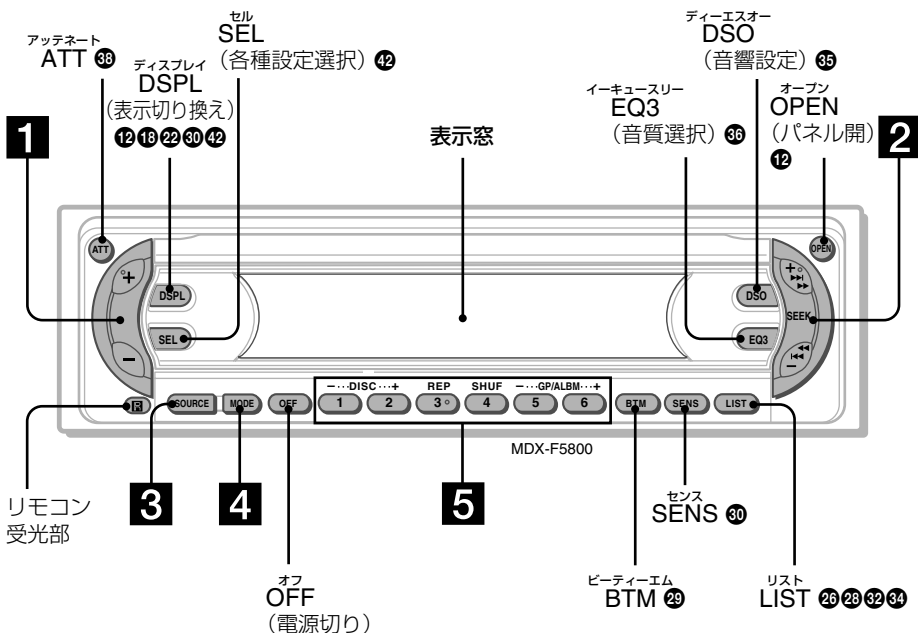


低い周波数の放送局を探す

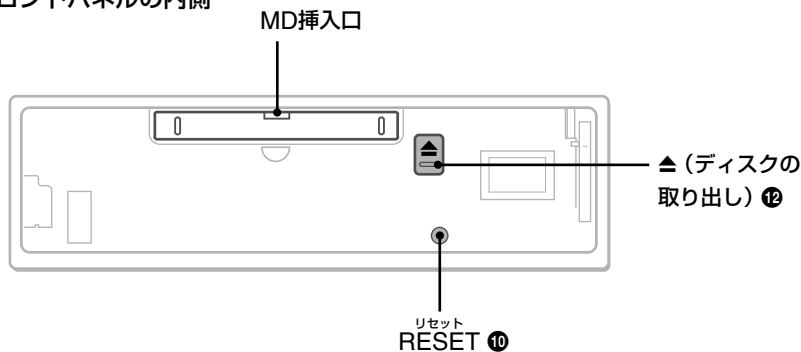


# 各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



## フロントパネルの内側



ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

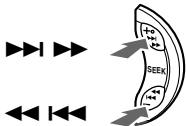
**1** 音量

+ : 大きく

- : 小さく

**2** シーク SEEK +/-

(ラジオ選局/頭出し/設定項目選択)



ラジオ	周波数の高い 放送局へ (押し続ける) 13 29 30 31	周波数の低い 放送局へ (押し続ける) 13 29 30 31
MD/CD*1	次の曲へ 早送り (押し続ける) 12 20	前の曲へ 早戻し (押し続ける) 12 20

**3** ソース SOURCE

(ラジオ/MD/CD\*1 (MS\*2) /AUX\*3切り換え)

**4** モード MODE

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え 13 29 31
MD/CD*1	MD/CD機器の切り換え 19

**5** 数字 (1~6) ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択

29 31

MD/ CD*1	1: ディスク DISC-ボタン 20
	2: ディスク DISC+ボタン 20
	3: リピート REPボタン 24
	4: シャッフル SHUFボタン 25
	5: GP*4/ALBM*5-ボタン 20
	6: GP*4/ALBM*5+ボタン 20

\*1 別売りのソニー製MD/CD機器が接続されているとき

\*2 MS : MG-MSシステムアッププレーヤー  
MGS-X1 (別売り)

本機はMGS-X1をMDとして認識します。

\*3 別売りのソニー製ポータブル機器が本機の外部音声入力端子に接続されているとき

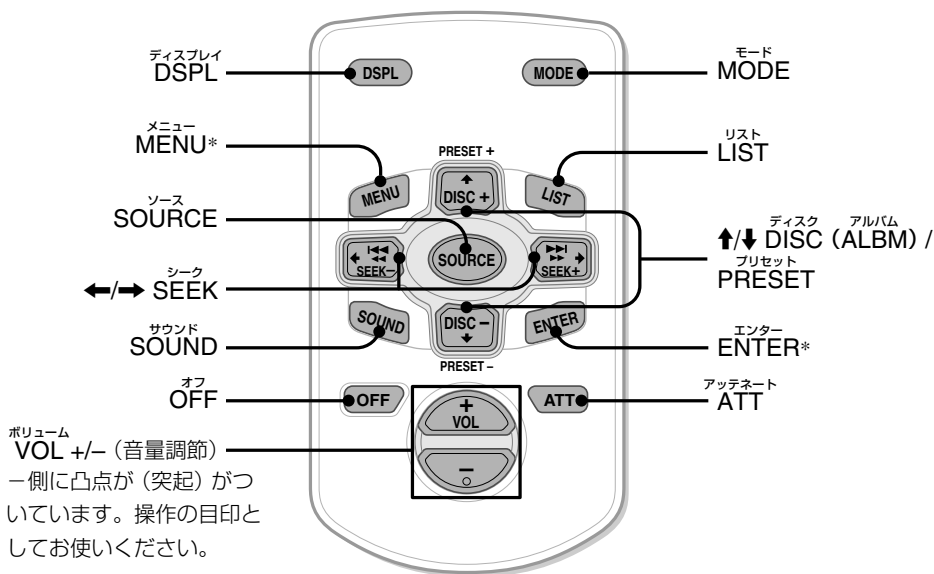
(別売りのソニー製MD/CD機器を接続している場合は使用できません。ポータブル機器とMD/CDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セレクターをお使いください。)

\*4 グループ設定されたMDを本機に挿入して再生したとき

\*5 別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーが接続され、MP3ファイルを再生しているとき

# カードリモコン（別売り）の操作

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。本機に特有のボタンについては、本体で操作をしてください。



RM-X114

\* 本機では使用しません

## ご注意

本体またはカードリモコンのOFFボタンを押し続けて表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

## ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(49ページ)をご覧ください。



## グループやディスク、アルバムを選ぶには

↑または↓でグループやディスク、アルバムを選ぶことができます。

### 本機でMDを再生している場合は

再生時に、↑または↓を繰り返し押して、再生したいグループを選びます。

押し続けると連続して送れます。

(通常のMD再生時は動作しません。)

### 別売りのソニー製MD/CDチェンジャーでMDまたはCDを再生している場合は

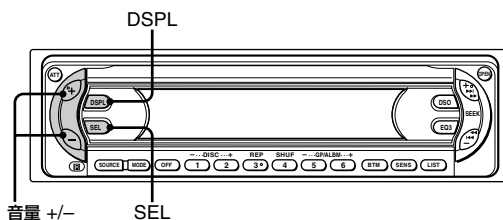
- ↑または↓を押すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。  
ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押し、押し続けると連続して送れます。
- MP3再生時に、↑または↓を押し続けると、再生中のディスク内のアルバムを選ぶことができます。  
ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押すと、1つずつ送れます。

## 連続して曲の頭出し(自動選曲センサー)をするには

←または→を押すと、前の曲や次の曲に押しただけスキップします。連続して送るには、ボタンを離してから約1秒以内に再びボタンを押し、とばしたい曲の数だけ短く押します。

# 時計を合わせる

本機は12時間表示です。



## ご注意

ACCポジションのない車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

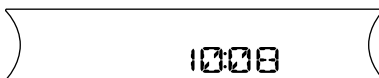
## 1 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。



「時」が点滅します。

- 1 音量ボタンの+または-を繰り返し押して「時」を合わせる。
- 2 SELボタンを押す。  
「分」が点滅します。
- 3 音量ボタンの+または-を繰り返し押して「分」を合わせる。

## 2 DSPLボタンを押す。

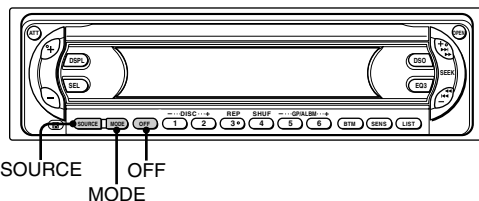


設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

# MD/CDを聞く

本機の他に別売りのソニー製MD機器またはMP3対応CD機器を接続して、MD、CD、MP3ファイルを再生できます。

CD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。



## CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

- \*1 別売りのソニー製MD/CDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。
- \*2 MP3再生時のみ表示します。
- \*3 別売りのソニー製MD/CD機器が接続されている場合のみ表示します。
- \*4 MD、CD TEXT、MP3再生時のみ表示します。
- \*5 グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。

## ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

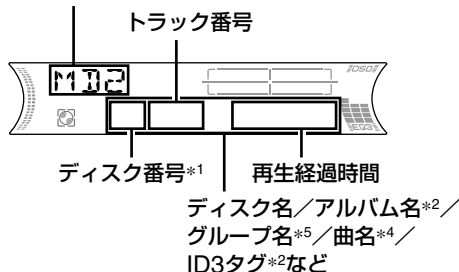
## ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのMD/CD機器内のディスクを再生しているときは、同じ機器内の次のディスクを再生します。

## 聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「MD」または「CD\*1」を選ぶ。

MD/CDユニット番号\*3



- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたいMD/CD機器（本機または別売りのソニー製MD/CD機器）を選ぶ。

### MDの場合

MD1（本機）→ MD2（MD機器1）\*3 →  
MD3（MD機器2）\*3 → … → MD1 →

### CDの場合\*3

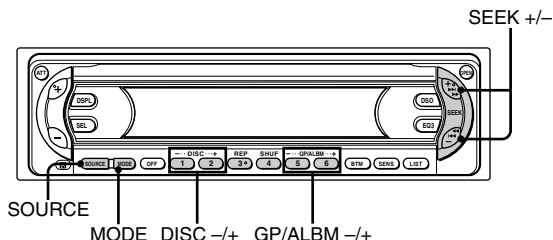
CD1（CD機器1）→ CD2（CD機器2）→  
CD3（CD機器3）→ … → CD1 →

## 再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

次のページへつづく

## MD/CDを聞く(つづき)



### グループ設定されたMD再生時のご注意

グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。

### MP3再生時のご注意

- 別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーをご使用ください。
- MP3対応CDチェンジャーはMP3再生時、初めにディスク内の情報(アルバム、トラック数など)を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「READ」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

### ちょっと一言

- DISC-またはDISC+ボタンを押し続けると、ディスクが連続して送れます。
- GP/ALBM-またはGP/ALBM+ボタンを押し続けると、グループまたはアルバムが連続して送れます。

## グループ設定されたMDのGP(グループ)を選ぶには

グループ設定されたMDを本機に挿入し、再生中にGP-(数字5)またはGP+(数字6)ボタンを押す。

押すたびに、前のGPまたは次のGPに1つずつ切り換わります

## MD/CDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

MD/CDチェンジャー内のディスクを再生中にDISC-(数字1)またはDISC+(数字2)ボタンを押す。

押すたびに、前のディスクまたは次のディスクに1枚ずつ切り換わります。

## MP3対応CDチェンジャー内の聞きたいアルバムを選ぶには

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中にALBM-(数字5)またはALBM+(数字6)ボタンを押す。

押すたびに、前のアルバムまたは次のアルバムに1つずつ切り換わります。

## 聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEKボタンの+または-を短く押す。

短く押すたびに、次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

## 曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

## ディスクの先頭または終わりに来ると

「LLLLL」または「RRRRR」が表示され、それ以上前、または先に進めることはできません。

## MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1（別売り）で再生するには

SOURCEボタンを繰り返し押して、「MS」または「MD\*」を選ぶ。

### 「MS」の場合

MGS-X1の再生が始まります。

### 「MD」の場合

MODEボタンを繰り返し押して、「MS」を選びます。

例) MGS-X1をソースセレクター（別売り）の入力端子2に接続した場合、MODEボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

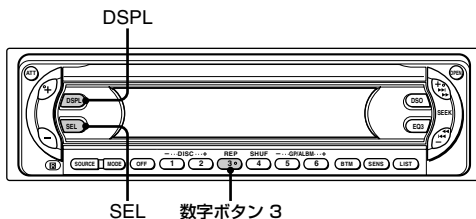
MD1（本機）→ MD2（MD機器1）→

MS（MGS-X1）→ . . . → MD1

\* 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

[次のページへつづく](#)

## MD/CDを聞く (つづき)



### ちょっと一言

- 本機では、MDやCD TEXT、MP3ファイルに記録されているディスク名/アーティスト名、グループ名/アルバム名、曲名、ID3タグなどはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたディスクを再生した場合は正しく表示されません。
- 本機で表示できない文字や記号は「\*」に置き換わります。
- CD TEXTまたはMP3ファイルの曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(23ページ)で「A.SCRLON」にしておくと、ディスクやグループ、アルバム、曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3ファイルのID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」と順に表示します。

### 表示窓の見かた

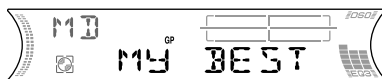
再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。



ディスク名\*1/アーティスト名\*3



グループ設定されたMD再生中/MP3ファイル再生中\*4



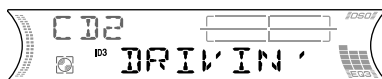
グループ名\*4/アルバム名\*1\*5 (MP3のみ)



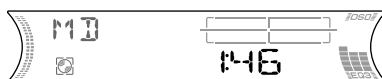
曲名\*1 (MD、CD TEXT、MP3のみ)



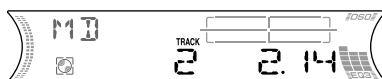
MP3ファイル再生中



ID3タグ\*6 (MP3のみ)



時計



曲番号と再生経過時間

## ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのはMP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTまたはID3タグで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

- \*1 ディスク名、アルバム名、曲名がないときは「NO NAME」と表示された後、再生経過時間表示になります。
- \*2 CD TEXTにディスクメモ機能(26ページ)で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- \*3 CD TEXTディスク、MP3ファイルまたはMDにアーティスト名が記録されている場合のみ表示します。
- \*4 グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。
- \*5 別売りのソニー製MP3対応CD機器が接続されている場合のみ表示します。
- \*6 MP3にID3タグがないときは、「NO ID3」と表示された後、再生経過時間表示になります。

## 長い名前(9文字以上)を見るには

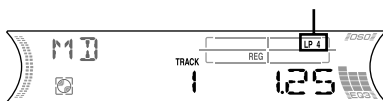
MD、CD TEXTまたはMP3を再生中(名前を表示中)に、SELボタンと数字ボタン3を同時に押します。

## MDLP (MDロングプレイ) の再生表示について

録音モードによりMD再生時の表示が換わります。

### MDLP再生表示

LP2 ..... LP2ステレオ再生時  
 LP4 ..... LP4ステレオ再生時  
 表示なし ... ステレオ/モノラル再生時



## オートスクロールの設定

MD、CD TEXTまたはMP3対応のCDを再生している場合は、ディスク、アルバムまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをMDまたはCDにしたときに、この設定を「ON」にしておくと9文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示させることができます。

## CDまたはMDの再生中にSELボタンと数字ボタン3を同時に押す。



約2秒後に、通常の画面が表示されます。

## オートスクロールを解除するには

SELボタンと数字ボタン3を同時に押します。

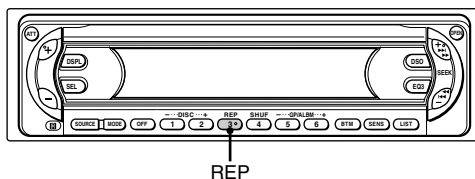
## ご注意

- スクロールするのはDSPボタンで選んだ表示のみです。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、グループ内の全曲、別売りのソニー製チェンジャー内のアルバムの全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



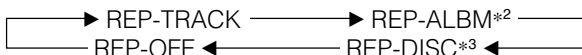
MDまたはCDを再生中、REPボタンを押して、「REP」を点灯させる。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

MDを本機に挿入して再生したとき



MD/MP3対応CDチェンジャー内のディスクを再生したとき



- 再生中の曲を繰り返すには  
..... 「REP-TRACK」にする。
- 再生中のグループ内の曲を繰り返すには  
..... 「REP-GP」\*1にする。
- 再生中のアルバム内の曲を繰り返すには  
..... 「REP-ALBM」\*2にする。
- 再生しているディスク内の曲を繰り返すには  
..... 「REP-DISC」\*3にする。

\*1グループ設定されたMD再生時のみ表示します。

\*2ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*3ソニー製MD/CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには

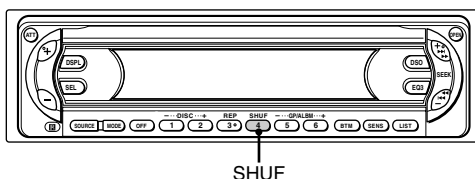
REPボタンを繰り返し押して「REP-OFF」を選びます。



# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のグループ、アルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



## ご注意

「SHUF-ALL」でMDとCDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

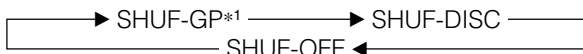
## ちょっと一言

「SHUF-CHGR」「SHUF-ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

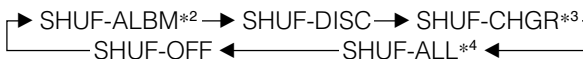
## MDまたはCDの再生中、SHUFボタンを押して、「SHUF」を点灯させる。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

MDを本機に挿入して再生したとき



MD/MP3対応CDチェンジャーを接続したとき



- 再生しているグループ内の全曲を順不同に再生するには ..... 「SHUF-GP」\*1にする。
- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには ..... 「SHUF-ALBM」\*2にする。
- 再生しているディスク内の全曲を順不同に再生するには ..... 「SHUF-DISC」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには ..... 「SHUF-CHGR」\*3にする。
- 再生しているソース (MDまたはCD) のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには ..... 「SHUF-ALL」\*4にする。

\*1 グループ設定されたMD再生時のみ表示します。

\*2 ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*3 ソニー製MD/CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*4 ソニー製MDチェンジャー1台以上または、CDチェンジャー2台以上接続時のみ表示されます。

## シャッフル再生をやめるには

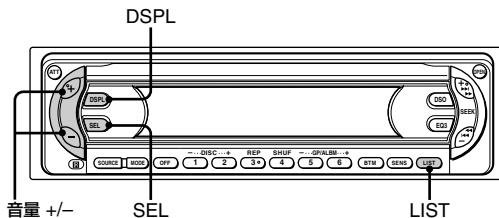
SHUFボタンを繰り返し押して「SHUF-OFF」を選びます。

# ディスクに名前をつける

## (カスタムファイル —ディスクメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。



### ご注意

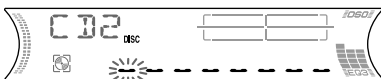
CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能は操作することはできません。

### ちょっと一言

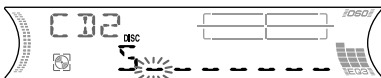
- 手順3で音量ボタンを押すごとに  
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z  
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9  
↔ + ↔ - ↔ \* ↔ /  
↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔ \_  
↔ A  
と切り換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあげたいときは、「  」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し押し続けて修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入力します。

**1** 名前をつけたいCDを再生する。

**2** LISTボタンを2秒以上押し続ける。



**3** 音量ボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押します。

**4** 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

## ご注意

- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- ディスク名の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 消去したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

## ちょっと一言

- CD TEXTの入ったディスク名を消去すると、もとのCD TEXTの情報が表示されます。
- 「ディスクに名前をつける」(26ページ)の手順3で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。
- 名前がすべて消去された場合は、手順2、4で「NO DATA」と表示された後、通常の画面に戻ります。

## 名前を消去するには

- 1 CDチェンジャー内のCDを再生中に、LISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 音量ボタンの+または-を押して、消去するディスクの名前を選ぶ。



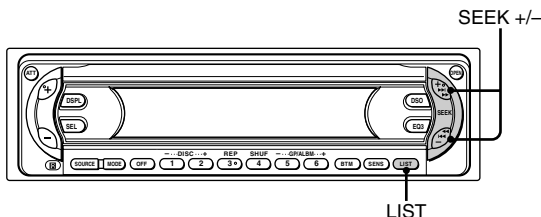
- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。  
選択したディスクの名前が消去されます。  
ほかのディスクの名前を消去するには、手順3~4を繰り返します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。  
通常の画面が表示されます。

# ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスク  
を選ぶことができます。

- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CD  
チェンジャーでCD TEXTディスクを再  
生する場合
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製  
CDチェンジャーでCDを再生する場合\*
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェン  
ジャーでMP3ファイル/CDを再生する  
場合
- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名  
前の記録されているMDを再生する場合

\* ディスクメモ機能 (26ページ) で名前をつけて  
からこの機能をお使いください。



## ご注意

- ディスク名のリスト画面に  
は、次の表示が出るることが  
あります。
  - 「NO DISC」: ディスク  
が入っていない。
  - 「NO NAME」:
    - 名前をつけていない。
    - CD TEXT対応の機器  
でCD TEXTでないCD  
を再生したとき。
  - 「NOT READ」: ディス  
ク情報を読み込んでいな  
い。
- CD TEXTで極端に文字数  
が多く入っている場合は、  
すべての文字を表示しない  
ことがあります。
- ロータリーコマンド (別売  
り) では操作できません。

## ちょっと一言

5秒以上操作しないと通常  
の画面に戻ります。

## 1 ディスクを再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



## 2 LISTボタンを繰り返し押して、聞きたいディス ク名を表示させる。

## 3 SEEKボタンの+または-を押す。

再生が始まります。

# 放送局を自動で登録する

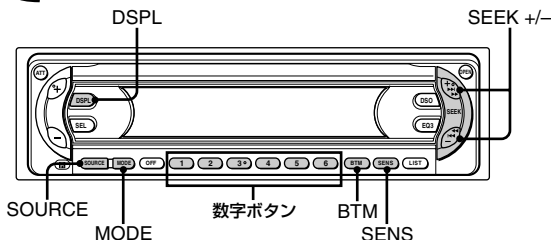
受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

## ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 →  
AM2 → FM1  
と切り換わります。

## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の番号に放送局が登録されます。



- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し続けて、ラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを繰り返し押し続けて、登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3 BTMボタンを2秒以上押し続ける。

「BTM」(ベストチューニングメモリー) が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終了すると、通常の画面が表示されます。

## 登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンを押して、聞きたい放送局を選ぶ。

次のページへつづく

## 放送局を自動で登録する(つづき)

\* 名前がついている場合のみ表示します。名前の登録のしかたについてくわしくは、32ページをご覧ください。

### ちょっと一言

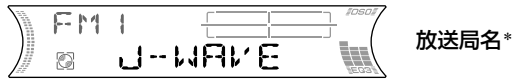
SEEKボタンの+または-を押して、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

### ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「OFF」にすると聞きやすくなります(35ページ)。

## 表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。



## 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEKボタンの+または-を押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。ラジオ受信中にSENSボタンを繰り返し押して、「LOCAL-ON」を選びます。

### ふつうの受信に戻すには

SENSボタンを繰り返し押して、「LOCAL-OFF」を選びます。

## ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

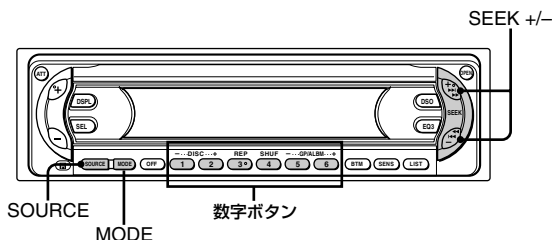
FM受信中に、SENSボタンを繰り返し押して、「MONO-ON」を選びます。

### ふつうの受信に戻すには

SENSボタンを繰り返し押して、「MONO-OFF」を選びます。

# 放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

## ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1  
と切り換わります。
- SEEKボタンの+または-を押して、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

**1** SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

**2** MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

**3** **A** 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき  
その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押す続ける。

**B** 聞きたい放送局の周波数がわからないとき  
SEEKボタンの+または-を押して離す。  
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。  
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



**4** 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで2秒以上押し続ける。

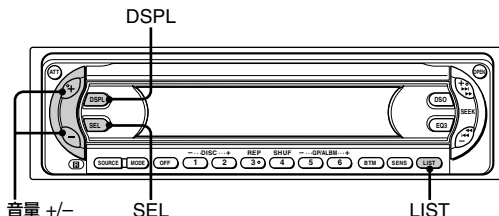


押した数字ボタン番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

# 放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

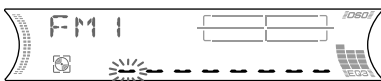


## ちょっと一言

- 手順3で音量ボタンを押すごとに  
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z  
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9  
↔ + ↔ - ↔ \* ↔ /  
↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔  
↔ A  
と切り換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあげたいときは、「  」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し押し続けて修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入力します。
- メモリーがいっぱいになると「MEM FULL」と表示し、それ以上放送局名をつけることができません。

## 1 名前をつけたい放送局を受信する。

## 2 LISTボタンを2秒以上押し続ける。



## 3 音量ボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押します。

## 4 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。



## ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」(32ページ)の手順3で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。
- 放送局名がすべて消去された場合は、手順2、4で「NO DATA」と表示された後、通常の画面に戻ります。

## 名前を消去するには

- 1 ラジオ受信中に、LISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 音量ボタンの+または-を押して、消去する放送局名を選ぶ。



- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

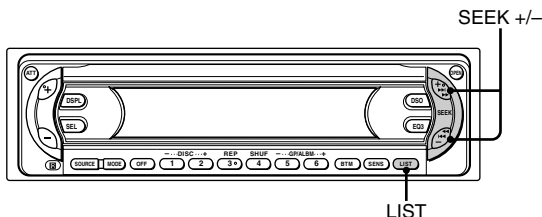
ほかの放送局名を消去するには、手順3~4を繰り返します。

- 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

# 放送局を名前で 探す (リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探ることができます。放送局に名前をつけるときは、32ページをご覧ください。



## ご注意

ロータリーコマンダー (別売り) では操作できません。

## ちょっと一言

5秒以上操作をしないと通常の画面に戻ります。

## 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



## 2 LISTボタンを繰り返し押して、聞きたい放送局を選ぶ。

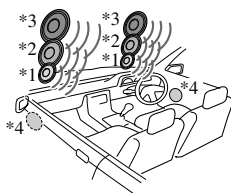
## 3 SEEKボタンの+または-を押す。

選局が終了すると、通常の画面が表示されます。

# DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設置されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー（バーチャルスピーカー）があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

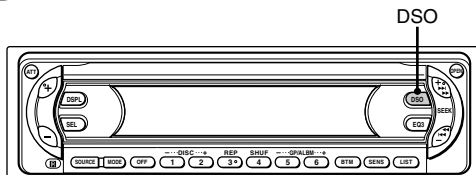
## バーチャルスピーカーのイメージ



- \*1 DSO-1
- \*2 DSO-2
- \*3 DSO-3
- \*4 DSO-OFF

## ちょっと一言

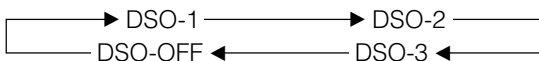
- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO-OFF」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。
- DSOの設定は各ソースごとに記憶されます。



**1** 設定したいソース（MD、CD、ラジオ、AUXなど）を再生／受信する。

**2** DSOボタンを繰り返し押し、DSOモードを選ぶ。

押すごとに、DSOモードは次のように切り換わります。



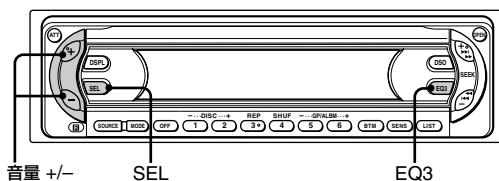
約1秒後に、通常の画面が表示されます。

## DSOを解除するには

手順2で「DSO-OFF」を選びます。

# イコライザーを使う (EQ3)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらに好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



## ご注意

DSO設定中はDSOの効果を最適化するためにイコライザーの効果を抑えています。

## ちょっと一言

イコライザーの設定は各ソースごとに記憶されます。

## イコライザーカーブを選ぶ

**1** 設定したいソース (MD、CD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。

**2** EQ3ボタンを繰り返し押し、イコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに、イコライザーカーブは次のように切り換わります。



約1秒後に、通常の画面が表示されます。

## イコライザーを解除するには

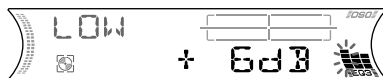
手順2で「OFF」を選びます。

## 好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース (MD、CD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。
- 2 EQ3ボタンを押してイコライザーカーブを選ぶ。
- 3 イコライザーカーブを調整する。

- 1 SELボタンを繰り返し押し続けて音域を選ぶ。  
押すごとに  
LOW → MID → HI → (BAL → FAD → LPF → SUB → AUX)  
と切り換わります。

- 2 音量ボタンの+または-を押してレベルを調整する。



- 3 手順①と②を繰り返して、イコライザーカーブを調整する。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには  
手順3の①または②でSELボタンを2秒以上押し続けます。

### ご注意

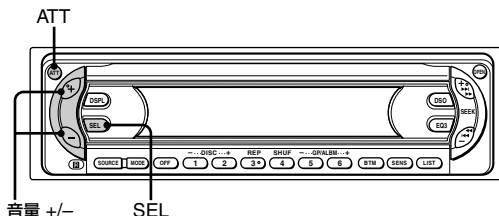
「OFF」では、イコライザーカーブの調整はできません。

### ちょっと一言

- 3秒以上操作をしないと通常の画面に戻ります。
- レベルの調整可能範囲は±10dBです。
- 手順3でSELボタンの代わりにカードリモコン(別売り)のSOUNDボタンを押しても切り換えることができます。

# 音のバランスを設定する

(バランス) (フェーダー)  
(ATT)



## ちょっと一言

- 手順2でSELボタンを押すごとに  
LOW\*1 → MID\*1 → HI\*1  
→ BAL → FAD → LPF\*2  
→ SUB\*2 → AUX\*3  
と切り換わります。  
\*1 EQ3 OFFでは表示されません。  
\*2 「SUB」を選ぶと表示されます (39ページ)。  
\*3 ソースがAUXの場合のみ表示されます (43ページ)。
- 3秒以上操作をしないと通常の画面に戻ります。
- 手順2でSELボタンの代わりにカードリモコン (別売り) のSOUNDボタンを押しても切り換えることができます。

## 出力バランスを調整する

1 ソース (MD、CD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。

2 SELボタンを繰り返し押して、「BAL」または「FAD」を選ぶ。

バランス (BAL) の設定表示



BAL : 左右のスピーカーバランス  
FAD : 前後のスピーカーバランス

3 音量ボタンの+または-を繰り返し押して、設定を調整する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

## 音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

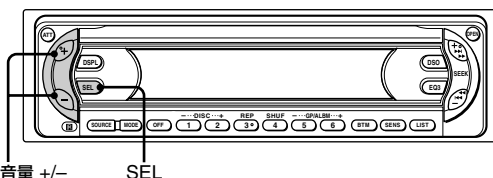
もとの音量に戻すには、もう一度ATTボタンを押します。「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

## ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース (MD、CD、FM、AM、AUX) ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています (ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

# サブウーファー の出力を設定 する

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調整することができます。

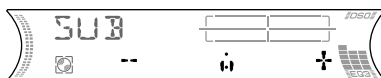


## ちょっと一言

- 手順2でSELボタンを押すごとに  
LOW\*1 → MID\*1 → HI\*1  
→ BAL → FAD → LPF\*2  
→ SUB\*2 → AUX\*3  
と切り換わります。  
\*1 EQ3 OFFでは表示されません。  
\*2 「SUB」を選ぶと表示されます (39ページ)。  
\*3 ソースがAUXの場合のみ表示されます (43ページ)。
- 出力レベルの調整可能範囲は±10dBです。(−10dB以下は「ATT」と表示します。)
- 3秒以上操作をしないと通常の画面に戻ります。
- 手順2でSELボタンの代わりにカードリモコン (別売り) のSOUNDボタンを押しても切り換えることができます。

## 出力レベルを調整する

- 1 ソース (MD、CD、ラジオ、AUXなど) を再生／受信する。
- 2 SELボタンを繰り返し押して、「SUB」を選ぶ。
- 3 音量ボタンの+または−を繰り返し押して、出力レベルを調整する。



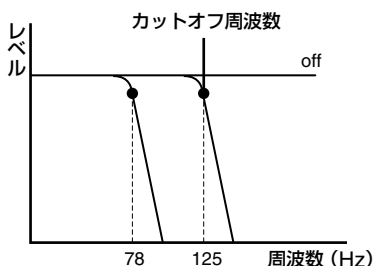
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

## サブウーファーの出力を設定する (つづき)

### サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

音の指向性 (方向) は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、「125Hz」を選ぶと、125Hz以上の音が除かれます。



#### ちょっと一言

- 手順2でSELボタンの代わりにカードリモコン (別売り) のSOUNDボタンを押しても切り換えることができます。
- 手順3で音量ボタンを押すごとにOFF (初期値) ↔125Hz ↔ 78Hzと切り換わります。

**1** ソース (MD、CD、ラジオ、AUXなど) を再生/受信する。

**2** SELボタンを繰り返し押しして、「LPF」を選ぶ。

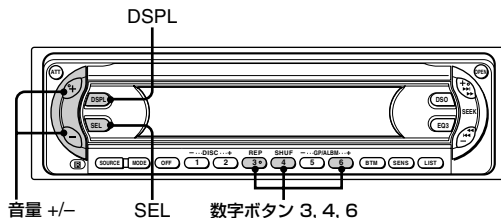


**3** 音量ボタンの+または-を繰り返し押しして、カットオフ周波数を選ぶ。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。



# 音や表示などの設定を換える



## ご注意

設定項目は選択されているソースにより異なります。

\*1 ソースの再生／受信の停止中のみ、表示します。

\*2 別売りのソニー製MD/CD機器を接続していないときに設定が可能です。

設定の種類	設定内容
「REAR」／「SUB」*1	音声出力を「REAR」または「SUB」に切り換えます。 「REAR」→ パワーアンプに出力する。 「SUB」→ サブウーファーに出力する。
「AUX-A」*1*2	SOURCEボタンを押した時の「AUX」の表示の有無を設定する（44ページ）。

## 「REAR」／「SUB」を切り換える

- 1 SELボタンを押す。
- 2 音量ボタンの+または-を押して、「REAR」または「SUB」を選ぶ。

設定が完了すると、通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

## 音や表示などの設定を換える（つづき）

\*1 CD/MP3再生中の場合のみ表示します。

\*2 ソースの再生／受信の停止中のみ、表示します。

\*3 内蔵パワーアンプを使用している場合のみ、ビープ音がなります。

設定の種類	設定内容
「A.SCRL」*1	MD、CD TEXTまたはMP3再生時、表示を自動的にスクロールさせる（23ページ）。
「M.DSPL」	モーションディスプレイの設定をする。 「ON」 → デコレーションパターンを表示する。 「OFF」 → デコレーションパターンを表示しない。
「DEMO」*2	再生／受信の停止中にデモを表示する。
「BEEP」*3	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。
「DIM」	表示窓の減光を設定する。 「ON」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「OFF」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。

## 設定を換える

**SELと希望するボタンを同時に押す。**

「A.SCRL」\*1： SELボタン + 数字ボタン3

「M.DSPL」： SELボタン + 数字ボタン4

「DEMO」\*2： SELボタン + 数字ボタン4

「BEEP」\*3： SELボタン + 数字ボタン6

「DIM」： SELボタン + DSPLボタン

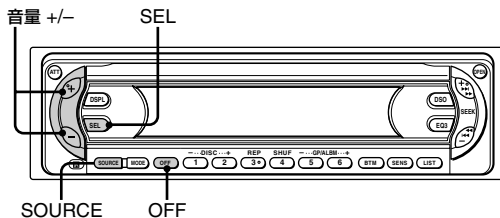
設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

## モード設定を解除するには

SELボタンと希望するボタンを同時に押します。

# ポータブル機器の音声を聞く

本機の外部音声入力 (AUX IN) 端子は、バス音声入力 (BUS AUDIO IN) 端子と兼用です。別売りのソニー製MD/CD機器の代わりに、DVDポータブルプレーヤー (別売り) などを接続し、その音声を車のスピーカーから聞くことができます。



## ご注意

- 別売りのソニー製MD/CD機器を接続すると、ポータブル機器は接続できません。ポータブル機器とMD/CDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セレクターをお使いください。
- ソースが「AUX」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。

## ちょっと一言

- 本機に接続した機器によって音量調整は異なります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±6dBです。

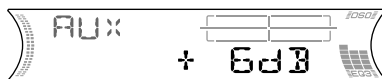
## ソースを設定する

SOURCEボタンを繰り返し押し続けて、「AUX」を選ぶ。



## 出力レベルを調整する

- 1 ソースが「AUX」のときに、SELボタンを繰り返し押し続けて「AUX」を選ぶ。



- 2 音量ボタンの+または-を繰り返し押し続けて、接続した機器に合わせて出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

## ポータブル機器の音声を聞く（つづき）

ソースにAUXを表示させない

---

**1** OFFボタンを押す。

再生／受信が止まります。

---

**2** SELボタンを繰り返し押して、「AUX-A」を選ぶ。

---

**3** 音量ボタンの+または-を押して、「AUX-A-OFF」を選ぶ。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

---

ソースにAUXを表示させるには

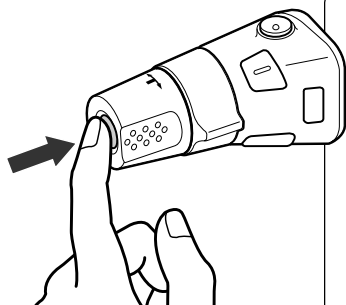
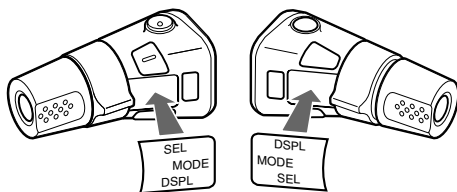
手順3で「AUX-A-ON」を選びます。

# ロータリーコマンダー（別売り）の操作

本機はロータリーコマンダー（RM-X4S）で操作できます。

## ロータリーコマンダーのシールについて

ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

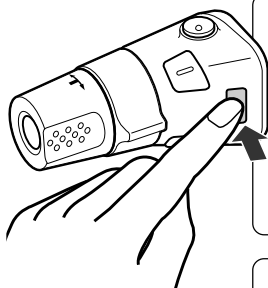


### ソース SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースがラジオ（FM/AM）→ MD → CD\*<sup>1</sup> → AUX\*<sup>2</sup>と切り換わります。

\*<sup>1</sup> 別売りの機器を接続時のみ表示します。

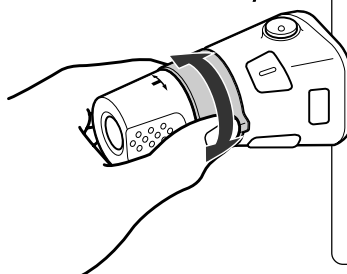
\*<sup>2</sup> 別売りのソニー製ポータブル機器を本機の外部音声入力端子に接続時のみ表示します。  
(別売りのソニー製MD/CD機器を接続している場合は使用できません。ポータブル機器とMD/CDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セレクターをお使いください。)



### モード MODEボタンを押すと

ラジオの時：FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1  
MDの時：MD1 → MD2\* → … → MD1  
CDの時：CD1\* → CD2\* → … → CD1\*  
と切り換わります。

\* 別売りの機器を接続時のみ表示します。

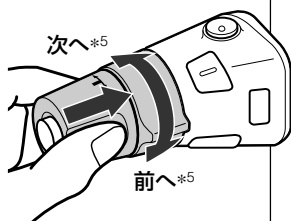


シーク/エーエムエス

### SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ …… 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定の周波数に合わせられます。  
MD/CD .. 曲の頭出しをする  
つまみを離してから2秒以内に再び回し続けると、連続して曲がスキップします。  
回し続けると早送り／早戻しになり、離すと再生に戻ります。

## ロータリーコマンドー（別売り）の操作（つづき）



ボリューム

### VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM ..... 登録した放送局を順に受信する

MD/CD ..... ディスクを切り換える\*<sup>3</sup>

アルバムを切り換える\*<sup>4</sup>

\*<sup>3</sup> 別売りのソニー製MD/CDチェンジャーが接続されているとき。

\*<sup>4</sup> MP3再生時のみ切り換えます。

### グループやディスク、アルバムの切り換えかた

#### グループ設定されたMDを本機に挿入して再生している場合

MD再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回して、再生したいグループを選びます。

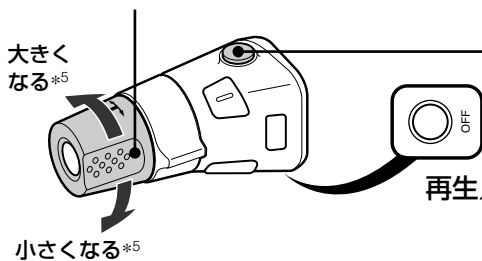
回し続けると連続して送れます。

（グループ設定されていないMD再生時は動作しません。）

#### 別売りのソニー製MD/CDチェンジャーでMDまたはCDを再生している場合

- VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。つまみを戻してから2秒以内に再び押しながら回すと、回し続けている間は連続して送れます。
- チェンジャー内のアルバムを選ぶには
  - ① VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回し続けると、アルバム選択モードになります。
  - ② 2秒以内に再びSEEK/AMSつまみを短く回すと、回すごとにアルバムを1つずつ送れます。

## 音量を調節する（VOLつまみを回す）

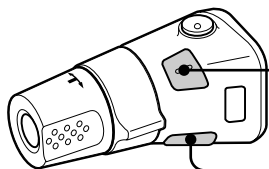


### 音量を瞬時に下げる

アッテネート  
(ATTボタンを押す)  
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生／受信の停止  
オフ  
(OFFボタンを押す)

\*<sup>5</sup> 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

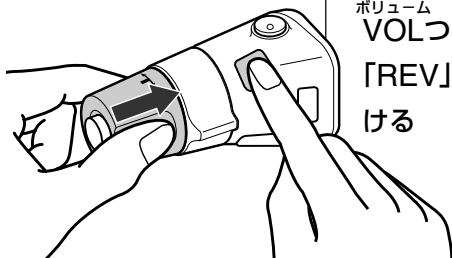


音量調節・音質選択する (SELボタンを押す)  
本体のSELボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)  
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

## つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。



ボリューム  
VOLつまみを押しながら、「[NORM]」または  
「[REV]」が表示されるまでSELボタンを押し続  
ける

「[NORM]」 ..... 初期設定の回転方向

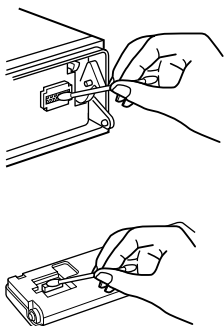
「[REV]」 ..... 運転席の右側に取り付けたと  
きの回転方向

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱い

### コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

### 液晶表示について

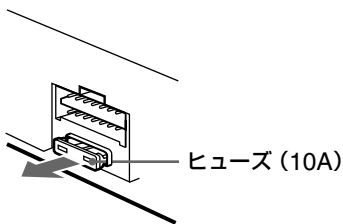
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなる場合がありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

### 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

### 表示窓の結露について

寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

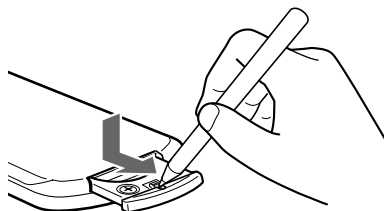
このような場合は、しばらく放置しておくで結露が取り除かれ正常に戻ります。



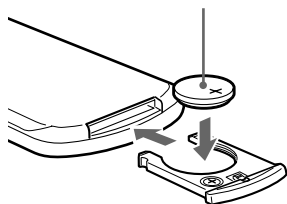
## 電池の入れかた

### カードリモコン

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



### 電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

### カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください）。
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

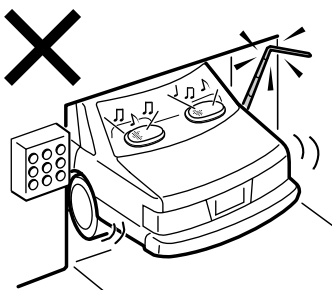
次のページへつづく

## 使用上のご注意（つづき）

### その他のご注意

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 音量を上げてください。</li><li>● ATT機能を解除してください。</li><li>● スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li><li>● 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャー（MDX-65など）で長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP： _ _ _ 」と出ている。 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーでは長時間録音のMDは再生できません（2001年12月現在）。 → 本機で再生してください。</li></ul>
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>● リセットボタンを押した。</li><li>● バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>● 電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定（42ページ）を「ON」にしてください。</li><li>● 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。</li></ul>
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。</li><li>● フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする（48ページ）。</li></ul>
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードが正しく接続されていない。</li><li>● イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。</li></ul>

次のページへつづく

## 故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
勝手に「ATT」表示が出て音量が下がる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機のナビ用ATT入力コードとソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内中「ATT」表示が出て音量が下がります。</li> <li>● 本機のナビ用ATT入力コードの先端部分が車の金属部にショートしている。 → コードの先端部分を絶縁テープ等でショートしないように保護してください。</li> </ul>
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
共通	電源がOFFにならない。 イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを押し続けてください。
	オートアンテナが上らない。 リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ボタンを押しても動作しない。 リセットボタンを押してください。
ロータリーコマンダー（別売り）で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
「-----」表示が消えない。	「NAMEEDIT」（名前入力）モードに入った。 → LISTボタンを2秒以上押し続けてください。
MD/CD	<p>ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。 音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● すでに別のディスクが入っている。</li> <li>● ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル（レーベル）面を上に入れてください。</li> <li>● ディスクが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。</li> <li>● ディスクが傷ついている。</li> <li>● 本機の取り付け角度が45°を越えている。</li> <li>● 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li> <li>● MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</li> </ul>

	症状	原因・処置
	MDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>何も録音されていないMDが入っている。 →録音済みのMDに入れ換えてください。</li> <li>長時間録音されたMDをMDLP未対応のMDチェンジャー（MDX-65など）で再生している。 →本機で再生してください。</li> </ul>
MD/CD	ディスクが自動的にイジェクトされる。	本機の内部温度が50°C以上になった。 →常温に戻ってから再生してください。
	グループ機能が動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ設定のされていないMDを再生している。</li> <li>MDレコーダーによってグループ設定されていない曲を再生している。</li> <li>グループ設定されたMDを別売りのMDチェンジャーに挿入して再生している。 →グループ設定されたMDを本機に挿入して再生してください。</li> </ul>
ラジオ	受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリ電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。（リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ。）くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li> <li>カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールコード（青色）の接続を確認してください。</li> <li>周波数を確認してください。</li> </ul>
	SEEKボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →「LOCAL-OFF」にしてください（30ページ）。</li> <li>電波が弱くて自動選局できない。 →SEEKボタンの+または-を押し続けて、周波数を合わせてください。</li> </ul>
	ステレオ放送が聞きにくい。「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周波数を確認してください。</li> <li>電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください（30ページ）。</li> <li>DSOの設定を「OFF」にしてください（35ページ）。</li> </ul>
サウンド設定	音がでない、または音が小さい。	バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →「音のバランスを設定する」（38ページ）で調節してください。

## 故障かな?(つづき)

### MD/CDのエラー表示

本機やMD/CD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
ERROR	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
FAILURE	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」説明書を見る。
HI TEMP	周囲の温度が50°Cを超えている。	50°C以下に下がってから再生する。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO MUSIC	MP3対応CD機器に音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
NOTREADY	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
	内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。 ディスプレイのエラー表示が消えない場合は、お近くのソニーサービス窓口を持ち込む。
OFFSET		
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

## 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

## 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

## 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 主な仕様

## MDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## チューナー部

### FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	67dB (ステレオ) 69dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ) 0.3% (モノラル)

### AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 $\mu$ V

## アンプ部

適合インピーダンス	4~8 $\Omega$
最大出力	52W $\times$ 4 (4 $\Omega$ 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア/サブウーファー (切り換え式) 音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子/外部音声入 力 (AUX IN) 端子 バスコントロール入力端子、 リモートコントロール入力端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用)、 ATT入力端子 (ナビ用)
トーンコントロール	低音: $\pm$ 10dB (60Hz) (XPLOD) 中音: $\pm$ 10dB (1kHz) (XPLOD) 高音: $\pm$ 10dB (10kHz) (XPLOD)
本体寸法	約178 $\times$ 50 $\times$ 181mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178 $\times$ 53 $\times$ 161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) ケース (1)



## 別売品

カードリモコン  
RM-X114  
DVD チェンジャー  
DVX-100S  
CDチェンジャー (10枚)  
CDX-757MXなど  
MDチェンジャー (6枚)  
MDX-66XLPなど  
パワーアンプ  
XM-460GTXなど  
アクティブサブウーファー  
XS-AW5X  
ソースセレクター  
XA-C30  
外部入力セレクター  
XA-300  
ロータリーコマンダー  
RM-X4S  
バスケーブル (RCAピンコード  
付属)  
RC-61 (1m)、  
RC-62 (2m)  
バス延長コード  
RC-U305 (0.5m)  
RCAピンコード  
RC-64 (2m)、  
RC-65 (5m)  
電源コード  
RC-39

## ご注意

本機には別売りのデジタルリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、「ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## 五十音順

### ア行

イコライザー	36~37
エラー表示	54
オートスクロール	23、42
音量	13、38

### カ行

カスタムファイル	26~27
カットオフ周波数	40
グループ	8、20
コネクタ	48

### サ行

サブウーファー	39~40
スクロール	22
ステーションメモ	32~33
シャッフル	25
ステレオ放送	30
スピーカーバランス	38
ソースサウンドメモリー	38

### タ行

デモ	42
ディスクメモ	26~27
登録	
自動登録	29
手動登録	31
時計	18

### ナ行

#### 名前

探す	28、34
消去する	27、33
つける	26、32
表示する	22、28、30、34

## 八行

バランス	38
ヒューズ	48
表示窓	
MD/CD	19、22
ラジオ	30
フロントパネル	11
ベストチューニングメモリー	
(BTM)	29
ボタンの音	42

## マ行

モノラル	30
------	----

## ラ、ワ行

ラジオ	13、29~34
自動選局	13
登録	29、31
名前で探す	34
名前をつける	32
リスト	28、34
リセット	10
リピート	24
リモコン	
カードリモコン	
.....	16~17、49
ロータリーコマンダー	
.....	45~47

## アルファベット順

A.SCRL	23、42
ATT	38
AUX	43~44
BAL	38
BEEP	42
BTM	29
CD TEXT	19、22
DEMO	42
DIM	42
DSO	35
EQ3	36~37
FAD	38
LOCAL	30
MD	12、19~23
MDLP	23
MD/CD	19~23
M.DSPL	42
MONO	30
MP3	20
MS	21
REP	24
SHUF	25
SUB	39



## 商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。  
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

### お客様ご相談センター

● ナビダイヤル\*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は\*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX..... 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

\*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。  
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。  
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装用緩衝材に紙材料を使用しています。